



ワイズメンズクラブ国際協会 西日本区

京都部部報



THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

REGION 9

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区

JAPAN WEST

第3号／2025-2026年度 BULLETIN

京都部部長	主題	次のステージを求めて！ Looking for the next stage！
西日本区理事	主題	世界中の仲間とYYYライフを楽しみましょう!! "Let's enjoy the YYY life together with our friends all over the world!!"
	スローガン	あなたに寄り添う。あなたを忘れない。 "Stay with you. Never forget you."
国際会長	主題	"Faith, Love, Action" 「信念、愛、行動」
	スローガン	"Together Stronger" 「共に、より強く」
アジア太平洋地域会長	主題	"Act now with faith and love!" 「信念と愛を持って行動しよう！」
	スローガン	"Contribute to local society together with YMCA and Youth!" 「YMCA、ユースと共に地域社会に貢献しよう！」

京都部部長
隠塚 功 (京都パレス)

西日本区理事
中井 信一 (奈良)

国際会長
エドワード オン (シンガポール)

アジア太平洋地域会長
田上 正 (熊本むさし)

次のステージを求めて！ Looking for the next stage!

第30代京都部部長 隠塚 功
京都パレスワイズメンズクラブ

部長はみんなが支えてくれる

30期部長を務めさせていただきました隠塚功です。

一年間、ご協力いただきありがとうございました。振り返ると、忙しくも楽し

い、あっという間の一年間でした。期初は不安も多いスタートでしたが、皆さんのお陰で取り組みたかったことに向き合えた1年でした。それができたのも、私を支えてくれたグリーンジャケットメンバーやパレスクラブのメンバーが私を支えて取組んでいただけたからに他なりません。仕事でもないワイズ事にここまで時間とお金を使って協力してくれたグリーンジャケットメンバー、並びにパレスクラブのメンバーに心から感謝致します。また、グリーンジャケットのメンバーも不安ではあったと思いますが、各クラブが自クラブの代表として役員を輩出していただけたことで、自クラブのフォローもあってご活躍頂けたものと思っています。その意味では役員輩出クラブの皆様にも感謝致します。そして、私たちが進めてきた事業に全力で取り組んでいただけた京都部の皆さんがおられたから、主催者は楽しくやり切れたものと思っています。京都部の皆さん、本当にありがとうございました。

京都部は人数が多いだけでなく、気持ちの熱いメンバーが多くいてくれます。だから、誰が部長をしても支えてくれますし、一生懸命に取り組んでもいただけます。

皆さん、是非、臆することなく、部長をやってみましょう！

全てのクラブから部長が輩出できるのを期待しています。





次期部長
寺久保 吉雄 京都グローバルワイズメンズクラブ

025年2月準備役員会から参加させていただき、年間行事の確認、各クラブへの依頼、事務局長、書記、会計、主査、委員長の役割分担、区からの依頼やクラブからの質問等への役員会の進め方が理解することが出来ました。後会でのお酒を交えた交流は時間内で聞けなかった話や、会社や趣味での話が私の人生に大きな刺激となりました。

30期最後の評議会では真面目な討議の中に笑いがあり、会長皆様の一体感を感じました。同期会長最高に仲良かったこの1年、ずっと堅い絆は続くと思えました。30期役員の皆様大変お世話になりました。感謝を申し上げると共に、京都部へのご尽力誠にありがとうございました、お疲れさまでした。今後は培われたご経験をクラブ活動や後輩育成に役立てていただければ京都部の発展となります。どうかよろしく願い申し上げます。私がこの1年歩んできた活動が仕事に生かされたり、地域に発信出来ていることを願っておりますが、会社そっちのけでも社員が「何か大変な役をしている」と感じ取ってくれていました。次期はもっと大変という空気を伝播させていきたいと思えます。

京都部の555名の異業種のワイズメンのお力とお知恵を集結させれば益々繁栄していきます。京都部各クラブは全て活発に活動されております。独自のCS支援活動は特に素晴らしい。次期はワイズとYMCA知名度向上に取り組みます。一番がワイズデーです。ワイズデーで各クラブCS支援事業をアピールしていただきたいと思えます。よろしくお願いいたします。



直前部長
山下 大輔 京都トップスワイズメンズクラブ

一年間隠塚部長始めキャビネット・主査の皆様お疲れ様でした。

直前部長という立場からこの隠塚期と一緒に居させて頂き色んなご活躍を近くで見えてきたところ、凄く隠塚部長らしい京都部の事業に取り組まれてた事に感心させて頂きました。

部長期終わってから分かった事や色んなことをしたい等をこの一年で行動された事は流石！！

隠塚部長だなと思いました。

色んな事業を始め、沖縄YMCAを訪問して今後の沖縄クラブ等の連携を取りやすくする様な行動や、富山YMCAなどへ訪問されて能登地震の募金をされたり大変素晴らしい行動力でした。

毎期色んな部長カラーが出ると思いますが、この京都部はどんなカラーであれメンバー皆がその期一年を充実されてる京都部だと感じております。

また、来期の寺久保部長期も楽しみにさせて頂きたいと思えますので、京都部の皆様も充実したワイズライフを送って頂きたく、京都部やYMCAの事業にもご尽力頂きます様宜しくお願いします！

隠塚部長一年間お疲れ様でした！！



監 事
武村 松一 京都ウイングワイズメンズクラブ

まずもって隠塚部長、キャビネット・役員の皆様、一年間お疲れ様でした。お世話になりありがとうございました。昨年の今頃のことを思い返された時の心境のことを思えば、どれだけ肩の荷を下ろされている

かは想像に難くないと感じています。部報第1号はペーパー化もされますし、お持ちであれば読み返してみてください。「こんな書いてたんや〜」と思い返されるのも良い思い出でしょう。これは各クラブの会長さんにも当てはまりますので是非やってみてください。

私のことと言えばこの期をもって京都部の役員から外れることになります。四年間いろいろな方にご無理を申し、数々のご迷惑をおかけいたしましたこと、この場をお借りいたしましてお詫び申し上げます。ただ勝手なことを申しますが、この四年間は様々な経験をさせていただき、それまでの部外者会員の立場では考えられないことの連続でした。次期研修会などはまだ六甲で行っておりまして、不真面目な参加態度でありました。（不真面目の内容はご想像にお任せいたします）しかし次期部長の立場となるとそうもいかず、自分なりに真面目にやったつもりです。真面目だったかどうかは皆様に判断していただければ、と思います。最後になります。私はこれで引退をいたしますが、わが京都部は永久に不滅です。長い間ありがとうございました。



YMCA連絡統括主事

藤尾 実

ヲイズメソズクラブの皆様、いつも京都YMCAの活動を温かく支えていただき、心より感謝申しあげます。この一年間、「国際協力街頭募金」や「チャリティーバザー」、「インターナショナル・チャリティーラン」など、様々な活動において多くのメンバーの皆様にご支援をいただき、無事に事業を実施することができました。また、リトリートセンターの「維持管理ワーク」や「フェスタ」の運営など、京都YMCAの諸活動への多大なるご協力、さらには「YYYフォーラム」でのグループディスカッションを通じたユースやスタッフとの交流の機会をいただきましたことに、改めて深く御礼申しあげます。さて、京都YMCAは今年中期計画の3年目として、地域社会の課題解決や「つながりの再構築」、「人材育成」に邁進しております。特に、今年で開設60周年の節目を迎えたリトリートセンターを、青少年育成の拠点として再整備するための「60周年記念募金」には、既に多くの温かいお志をいただいておりますが、これから豊かな自然を守り、子どもたちの未来の場を再整備するため、引き続き皆様の力強いご協力を心よりお願い申しあげます。



書記

大橋 芳夫 京都パレスヲイズメソズクラブ

今期は隠塚部長のもとで、思わぬ形で京都部書記という大役を引き受けることになりましたが、充実した1年を経験することが出来ました。現在、メンバー数も増加してきている、活性化の目覚ましい京都部の皆様と事業を通じて交流出来ることは、自分にとっても大きな刺激になりました。今期一番の目玉でもあるグリーンジャケットはキャビネットの結束を高め、周りからも色々な面で注目される存在であったと自負しています。今期の思い出は多くありますが、京都部部会においての京都市青少年合唱団のいざ立てのコーラスでは、多くのメンバーが感極まってくれていたこと。瀬戸山陰部部会の米子の翌日にヲイズデーがあり、強行で参加したこと。富山YMCAでは、自分がヲイズメンであり、奉仕団体の一員であることの再認識ができたこと。沖縄YMCA訪問では、過去の経緯でヲイズメソズクラブとYMCAとの距離があったものの、関係の再構築が出来たこと。でしょうか？隠塚部長が本当に頑張って活動してくれたお陰で、色々な方と交流でき、経験をすることが出来ました。ただ、京都部は良くも悪くも単年度事業なので、良いことに関しては継続していけるよう、今後も関わって行けたらうれしいです。1年間、ありがとうございました。



書記

池袋 晴彦 京都パレスワイズメンズクラブ

この一年間、隠塚部長のもとで京都部書記という大役を務めさせていただき、多くの学びと貴重な経験を得ることができました。

同じグリーンブレザーを身にまとうことで京都部としての一体感が生まれ、他クラブを訪問する中で、多くのワイズメンや各クラブ会長の皆様と交流する機会にも恵まれました。それぞれのクラブの特色や活動に触れ、大変良い刺激を受けた一年でした。

書記としては、議事録の作成や会議運営のサポートなど、微力ながら京都部の活動に貢献できたのではないかと感じています。また、議事録をまとめる立場だったからこそ、京都部全体の一年間の流れや各委員会・各クラブの活動を俯瞰して見ることができ、京都部への理解をより深めることができました。この経験は今後のワイズ活動にも生かしていきたいと思います。

さらに、ワイズデーでの京都カグヤライズ、卓球例会、例会の卓話の機会をいただくなど、多くのご縁にも恵まれました。京都部で築いたつながりは、私にとって大きな財産です。

思い出の詰まったグリーンブレザーは、隠塚部長のエルマークロウ賞受賞祝賀会まで大切に保管しておきたいと思います。一年間、本当にありがとうございました。



会計

渡邊 大介 京都パレスワイズメンズクラブ

今から2年近く前、ホテルオークラ京都でのいつもの例会、その後に近くのバーで隠塚ワイズが京都部部長を拝命されるということを初めて聞きました。所属する京都パレスクラブは55周年期でもあったので、周年記念の準備もある中、京都部部会のホストクラブも務めるといったメンバー総動員となる1年となりましたが、覚悟を持って引き受けられた隠塚部長に感銘を受け、微力ながら支えていけたらと思い、会計の役を拝命いたしました。

準備期間を含むと約1年半に渡り、京都部会計として貴重な期間を過ごさせて頂きました。率直な感想は『本当に楽しかったです！ありがとうございました！』の一言に尽きます。役員会や評議会が迫ると準備に追われるのですが、役員会・評議会ではたくさんのパワーをもらいましたし、クラブによって様々なカラーがあり、すべてのクラブのことが好きになりました。

京都部役員のみなさま、最初は緊張ばかりの役員会でしたが、期末が近づくにつれ寂しかったです。各クラブ会長のみなさま、西日本区大会で壇上に立たれている姿が最高にかっこ良かったです。パレスクラブの新納会長とメンバーのみなさま、いつもご理解と大きなサポートをありがとうございました。そして何より、隠塚部長がとても楽しそうに京都部事業に参加されている姿を見て私たちキャビネットも楽しく過ごすことができました。グリーンジャケットを着る機会が無くなるのは寂しくなりますが、1年間ありがとうございました！



事務局長

服部 洋典 京都パレスワイズメンズクラブ

クラブと京都部、京都部と西日本区の橋渡し役。上手く橋渡しをすることができたでしょうか？

クラブに引きこもっていた十数年。昨期はプレイヤーのPR委員長として、今期は運営側の事務局長として京都部に関わらせて頂き、大変勉強になりました。この、主査→三役という流れは、出不精の私にとって本当に良かった。まず、主査は、自身が主催する懇談会、さらには部長公式訪問の随行を6クラブほど担当してスピーチを行なう事が恒例です。肩書を頂いた状態で各クラブを訪問する事で、クラブ会長は元より、あまり面識がないワイズメンからも、お話して頂く機会が多くなりました。こういった基盤ができてきた状態で、クラブと京都部を繋ぐ事務局長をさせて頂けると、面識が少ないクラブに対しても、直前会長さんを通じてお話させて頂いたり、情報を共有したりと、私にとっては色々なやり取りがやり易かったと感じまし

た。こういった機会を与えて頂き、経験をさせて頂いた、我がパレスクラブ、山下直前部長、隠塚部長、京都部グリーンジャケッツ、そして京都部全てのワイズメンに感謝申し上げます。

至らぬ点多々あったかとは思いますが、1年間、本当にありがとうございました。感謝！



主査主題

NO Yサ・ユース、NO Y's LIFE

YMCAサービス・ユース事業主査

安田 繁治 京都ウエストワイズメンズクラブ

2026年がスタートしても、まだまだYサ事業は休む事なく大焚き火フェスタからはじまり、2月13日は創立137周年会員集会有り沢山の参加者で賑わいました。

3月1日THE Y CUP京都ミニバスケットボール大会（ワイズ各クラブの食事提供あり）、8日リーダー活動感謝会もあり日頃のリーダーの活動報告と、子供達とのふれあいを写真等で報告・発表がありました、リーダーの皆さんお疲れ様でしたそしてご卒業おめでとうございます。

3月には第二回のチャリティーゴルフも開催し皆さんと楽しい一日を過ごせました、

4月にはスプリングフェスタの開催日もリーダー達の予定と調整したのですが、残念ながら参加者は数名でした、結果 何時もながらのワイズメンとその家族と留学生の参加のみとなりました。5月10日のチャリティーランにはパラリンピックメダリストの富田宇宙さん（大会委員長）も参加して頂きましたが、通達・案内・宣伝があまりされてなく何時もながらのワイズメンと、キッズダンス・ハンナリーズダンスのメンバーとその親御さん達でした。

大変もったいなくおもいました、ただ1kmのグループウォークの仮装は各クラブ年々趣向を凝らした装いで和ませて頂きました。5月31日のYYYフォーラムは総勢60名の参加でYMCA・リーダー・ワイズメンの三者でディスカッションの場を設定し、日頃のリーダーの活動の報告やワイズメンに対しての支援や希望・質問等を含めて1時間ほど話し合いをし、後日 報告書を提出して頂きました。それを各クラブ会長宛に配信し、今後リーダーとのコミュニケーションの資料にして頂ければ少しでも距離を縮まればと思いました。ほぼ一年以上YMCAサービス・ユース事業に携わらせて頂きましたが、少しやり残した感はあると思いますが、私なりに楽しい時間を過ごさせていただきました。



主査主題

心豊かな世界を地域から ~Peace from the local community~

地域奉仕・環境事業主査

渡邊 えみ 京都キャピタルワイズメンズクラブ

皆様のお力添えにより、あっという間の一年間を無事務めさせていただきました。

7月の事業懇談会・懇親会、9月のメネットアワー、11月のワイズデー、2月のチャリティーボウリング、どの事業も沢山ご参加くださり、お陰様で、大盛況のうちに実施することが出来ました。中でも、ワイズデーは、地域の取り組みと共に開催できたことで、地域ボランティア学生やYMCAリーダー、来場者皆様の笑顔がとても印象に残っています。終わってしまうと、数日ぼんやりして

しまうほどの充実感がありました。これらの事業でお預かりした支援金は、能登復興支援金として、避難所運営等に尽力されていた富山YMCAへ贈呈いたしました。現地はまだまだ復興途上であり、多くの課題が残っていることを改めて知りました。5月23～24日の訪問の様子は、自クラブのブリテン7月号に掲載していただいておりますので、よろしければご覧ください。この一年、思えば楽しい事だらけ。心から感謝しています。ありがとうございました。



主査主題

クラブの未来を共に創る！継続的な成長と絆を深めよう！

EMC事業主査

森下 克己 京都グローバルワイズメンズクラブ

第30期京都部EMC事業主査を拝命し、この一年を無事に務めることができましたのも、京都部役員の皆様、各クラブ会長・EMC委員長の皆様、そして会員の皆様の温かいご理解とご協力のおかげであり、心より感謝申し上げます。

今期は「クラブの未来を共に創る！継続的な成長と絆を深めよう！」をテーマに掲げ、会員増強だけでなく、会員満足度の向上とクラブの活性化を目指して活動してまいりました。各クラブを訪問する中で、それぞれの特色ある活動や工夫に触れ、多くの学びと気づきをいただきました。また、EMC懇談会や新旧合同懇談会では、多くの皆様にご参加いただき、クラブの垣根を越えた交流と情報交換の場をつくることができたことも、大きな成果であったと感じております。

今期は京都部全体で46名もの新しい仲間を迎えることができました。これは各クラブが日頃から地道に取り組まれた会員増強活動の成果であり、EMC事業主査として大変嬉しく、誇りに思っております。一方で、退会防止や、さらなる会員満足度の向上など、今後も取り組むべき課題はありますが、京都部にはそれを乗り越える力と結束力があると確信しております。

この一年、多くの皆様との出会いに恵まれ、私自身も多くのことを学び、成長する機会をいただきました。EMC事業主査という貴重な役目を務めさせていただけたことに心から感謝しており、この経験を今後の活動に生かしてまいりたいと思います。

最後になりますが、一年間支えてくださったすべての皆様に心より御礼申し上げます。京都部のさらなる発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍を心よりお祈り申し上げ、一年を振り返ってのご挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。



主査主題

♪友達 100人出来るっかな～♪

国際交流事業主査

山田 登喜雄 京都めいぶるワイズメンズクラブ

『♪友達100人出来るかなあ♪』の主題で始まった、国際交流事業で御座いましたが、京都部30期を楽しく、精一杯やりきることが出来ました！

何をすると良いかも解らず、とにかく挨拶と握手を元気良く行い、最低でも目の前にいらっしゃる方が幸せになって貰えれば!!と努めて参りました。皆様が少しでも30期を楽しんで頂けたのなら大変光栄に思います。

今まで共に進んだ部長、役員の皆様、そして各クラブ会長の皆様、全てのワイズメンバーに感謝を申し上げます！

一年間、私が一番楽しんだと自負しております！ありがとうございました！



主査主題

ワイズメンズクラブの認知度向上に貢献する効果的なPR活動

PR委員長

澤田 哲平 京都プリンスワイズメンズクラブ

この充実した一年を無事終えることができました。部役員をはじめ、各クラブ会長、ワイズメンの皆様、心より感謝申し上げます。そして今は、無事に役目を終えられたことにほっとしています。

PR委員長として大きな取り組みや目立った成果を残せたわけではありませんが、この一年を通して、多くのワイズメンの皆様と知り合い、交流を深めることができたことは、私にとって大きな財産となりました。

様々な事業に参加するたびに、ワイズの温かさや、それぞれのクラブが築いてきた絆を感じることができ、ワイズメンのつながりってすごいなと改めて実感した一年でもありました。

この一年を通して、多くの方々と出会い、交流する機会をいただきました。それぞれのクラブには特色があり、それぞれの思いを持って活動されていることを知ることができたのも大変貴重な経験です。役員を務めたからこそ得られたご縁に、心から感謝しています。

どこかの例会や事業でお会いした際には、ぜひ気軽に声を掛けていただければ嬉しいです。

一年間、本当にありがとうございました。

京都ヲイズメソズクラブ 会長 高田 敏尚

会長主題 クラブ、ルネサソス (KYOTO-CLUB Renaissance)

副 題 ルネサソスは中世イタリアでの復興運動です、



京都クラブの会長標語は「京都クラブ ルネサソス（復興）」ということでした。会長就任当初はメンバー数12名、例会も三役会も役員会もみんな同じメンバーでした。2022年は24名だったのですよ。部報には、神戸、横浜の港町が世界的にみたら50年前、60年前と比べてその地位を大きく下げているが、港町としての本質や輝きは失われていないと書きました。それが、クラブのみなさんの頑張りで今期3名の入会者がありました。おかげで、若年者入会表彰を区大会でうけることができました。YMCAに対しても、三条本館のクリスマス電飾、日本語学校の卒業生へのアルバム贈呈、介護学科の学生さんとのリトセンでの交流（バーベキュー）、YMCA職員さんの海外研修の費用補助と、京都クラブらしい活動もできました。こういうことも、クラブがあってこそできたことです。

クラブは2027年に80周年を迎えます。これまで、50周年、70周年となんとなく経験してきましたが、周年企画はクラブを一つにまとめることに気がつきました。未来に向かって夢を語れる、ビジョンがあればクラブも生き生きします。少し先の目標にむかって生き残るぞという思いで次期に引き継ごうとしています。

京都パレスヲイズメソズクラブ 会長 新納 麻衣子

会長主題 恩返し and 恩送り

副 題 恩送りのバトソを次の世代に



大変緊張しながら始まった会長職も今月で無事に任期満了。多くのみなさまのご支援のおかげで、とても楽しい1年をすごすことができました。感謝申し上げます。

今期は隠塚京都部部長輩出クラブということで、京都部部会の主催、そして55期という節目の年で、周年記念例会開催という二つの大きな行事があり、大変忙しい1年となりました。

70名を超える会員数を誇るクラブですが、そのうちこの5年以内に入会したメンバーは30名以上となり、かつてないほどの活気にみちあふれ、いいタイミングでの部長輩出、記念例会開催となったのではないかと思います。

古くから在籍するメンバーと新しいメンバーが、一緒になって多くの行事を実施する中で懇親を深め、魅力あるクラブへと前進。今後は、新しいメンバーがパレスイズムを継承し、どんどん活躍してくれることを願っています。

個人的には、入会して14年になるものの、今までクラブ外に目を向けることはほとんどなかったのですが、会長になり、京都部役員のみなさまや、同期会長のみなさまとの交流を通じて、京都部の層の厚さを実感し、ヲイズメソズクラブの新たな楽しみ方を知ることとなりました。

今後はこの1年間のすばらしい経験を通じて、さらに精進してまいります。ありがとうございました。

京都ウエストワイズメンズクラブ 会長 中川 由宇

会長主題 肝胆相照

副 題 ～認め合い、高めあう～



この一年間、京都部の皆様には、様々なご支援を賜りましたこと、感謝申し上げます。

今期、当クラブでは、従前から行っているY・サ事業や地域奉仕活動を充実させつつ、新たな奉仕活動として、「長岡こおろぎ」の支援する視覚障害者を招いてのBBQ大会をリトリートセンターにて行いました。また、クラブの内固めと活性化のため、新入会員オリエンテーションの強化、EMC例会の2回の開催、将来構想委員会の立上げ等を行いました。

頼りない会長でしたが、各メンバーにそれぞれの役割を考えながら行動いただき、私の力不足を補っていただいたことで、有意義なクラブ活動ができたのではないかと思います。愛情をもって叱咤激励をいただきました三役をはじめメンバーの皆様には、感謝の念に堪えません。

今期の会長主題は「肝胆相照」でした。互いのことをよく知り、尊重し合い、心通い合う関係を築きたいと掲げたものでした。各メンバーとの対話を心掛けたいと思いつつも、私自身の体調等との関係もあり、必ずしも全員との間でその時間を十分に取ることができたわけではありません。引き続き私のペースで取り組みたいと思っています。

私にとって、かけがえのない出会いや気づきのあった一年でした。このような機会を与えてくださった皆様に、改めて感謝申し上げます。

京都めいぶるワイズメンズクラブ 会長 野口 治之

会長主題 やっちゃんえ、めいぶる。

副 題 やらなきゃ、始まらない



この一年間、京都めいぶるクラブの会長として活動に参加させていただき、誠にありがとうございました。最初は右も左もわからない状態でしたが、皆さまの温かいご指導と支えのおかげで、無事に一年間を走り抜くことができました。

活動を通じて、これまでの自分の生活では触れることのなかった世界や価値観に出会えたことは、何よりも大きな財産です。

また、年代や性別を超え、同じ目的や想いを持った方々と出会い、共に活動できたことも、かけがえのない経験となりました。異なる立場や背景を持つ仲間と協力しながら一つの目標に向かう時間は、多くの学びと気づきを与えてくれました。

振り返れば、悩んだことや戸惑ったことも多くありましたが、その度に周囲の皆さまに助けをいただき、成長する機会へと変えることができました。こうした経験の積み重ねが、今の自分を支えていると感じています。

この場をお借りして、関わってくださったすべての皆さまに心より感謝申し上げます。これからも、この経験で得た学びとご縁を大切にしながら、社会に貢献できるよう努めてまいります。

本当にありがとうございました。

京都キャピタルワイズメンズクラブ 会長 宮崎 順巳

会長主題 恩送り

副 題 ～メンからクラブへ クラブからYMCAへ～



あっという間に一年が終わってしまいました。

「やっと終わった」と肩の荷が下りて気楽になれたはずなのに、どこか寂しさも感じています。

きっちりしなければと思いながらも、もともと私はどちらかというといい加減な性格です。そんな私がふらふらしながらも一年間無事に会長を務めることができたのは、メンバー・メネット・コメントの皆様に支えていただいたおかげです。心より感謝申し上げます。

今期はDBC先である東京クラブさん、熊本むさしクラブさんとの交流を、上半期・下半期それぞれで京都・東京・熊本にて行うことができました。クラブ同士の交流はもちろん、家族全員で東京や熊本を訪れることができたことも、今となっては大切な思い出です。

会長主題は「恩送り」といたしました。しかし振り返ってみると、私自身が恩を送るどころか、ひたすら皆様から恩を送られ続けた一年だったように思います。だからこそ、次期からは私が恩を送る番です。受けた恩をそのまま相手に返すのではなく、別の誰かへつないでいく。その気持ちを胸の真ん中に置きながら、これからもワイズメンとして活動してまいります。

また、京都部では役員の皆様や同期会長の皆様と接する機会も多く、多くの仲間に出会うことができました。他クラブにたくさんの仲間ができたことも、この一年で得た大きな宝物です。これから周年記念例会や西日本区大会に参加しても、そこには顔を合わせて笑い合える仲間がいる。一年前の自分と比べると、そのことが何より大きな変化だったように感じています。

会長として過ごした一年は、私にとってかけがえのない時間となりました。

皆様、一年間本当にありがとうございました。

京都プリンスワイズメンズクラブ 会長 今西 英隆

会長主題 良い思い出をつくりましょう！

副 題 ～Making Good Memory！～



会長としての任期を終えて、改めて期間中にご支援・ご協力を頂きましたワイズメンズクラブの皆様をはじめ、関わって頂きました皆様に感謝を申し上げます。

私が会長を拝命した当初から、当クラブ40周年記念期には、「地域とのつながりを深め、社会に貢献できる活動を実践すること」を目標として掲げてまいりました。多くの皆様のご理解とご協力のおかげで、様々な事業を実施することができました。

その主な事業として、ボーイスカウトの皆様との協業によるリトセンへのターザンロープ設置事業が挙げられます。この事業は、子どもたちが自然の中で安全に楽しみながら挑戦する機会を創出することを目的として実施いたしました。リトセンに人気遊具を設置する事で、少しでも人が集まり、より活気溢れる事を願って、いよいよ7月から現地リトセンにて設置ワークのスタートとなります。完成は秋頃となりますが、計画段階から和知キャンプ場へターザンロープ視察に行くなど、メンバーにとって良い思い出となりました。完成後には子どもたちの笑顔や歓声があふれ、自然体験活動の充実に少しでも貢献できることを楽しみにしております。チャリティーゴルフにご参加頂いた皆様の温かいお気持ちがターザンロープ設置に繋がっております。本当にありがとうございます。

後半が本意にも活動に参加できずだったのは非常に残念でしたが、東山荘旅行、DBC伊東クラブ周年記念例会参加、高島町・マキノでのファミリー例会等、会長期の良い思い出がたくさん出来ました。次期は、新たな体制のもとで、40周年記念例会開催に向けて、一会員として引き続き活動を支えて参ります。

京都ウイングワイズメンズクラブ 会長 上田 敦

会長主題 仲間とつなげる、未来につなげる

副 題 明るく、楽しく、元気よく！



第39期会長としての1年が幕を閉じました。期初に掲げた会長主題「仲間とつなげる、未来につなげる ～明るく楽しく元気よく！～」に沿って全力で駆け抜けた、大変充実した1年となりました。「仲間とつなげる」の面では、台中グレートヴィジョンクラブとの来日交流をはじめ、熊本NスピリットとのDBC締結、仁川ナンドンクラブとのIBC締結を果たすことができました。さらに、4クラブ合同例会や、新入会員を迎える契機となった約100名規模の講演企画など、内外で豊かなフェロシップの輪を広げることができました。これらの熱心な国際交流等の活動が認められ、先日の西日本区大会において、「国際交流事業 最優秀賞」および「YMCAサービス・ユース事業 優秀賞」という身に余る栄誉ある表彰を頂戴いたしました。クラブ一丸となった取り組みの成果であり、大きな喜びです。一方で、ユースリーダー支援には課題も残り、YMCAの未来を支える人材育成への思いは次期の本多会長へと引き継ぎ、私もサポートに回りたいと思います。多忙でしんどい時もありましたが、自らが明るく楽しく元気よく振る舞うことでやり尽くすことができました。就任時の不安は「やってよかった！」という深い感動に変わっています。同期会長の仲間にも恵まれ、また、クラブ内で温かく支えてくださった三役、役員、メンバーの皆様には心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました！

京都洛中ワイズメンズクラブ 会長 竹山 直司

会長主題 ワイズをやらない理由を探さない



まずはアッという間の一年でした、
一年間色々な行事に参加させて貰いましたし、周年イベントももれなく参加しました
それぞれが素晴らしい周年で再来年に40周年を迎える洛中クラブとしたら勉強になりました
そして僕は二回目の会長でしたが一回目とは全く違う一年になったのが自分自身驚いています
ワイズ経験も当然増えて、年齢も重ねて少しワイズ活動に慣れがきてる頃でした
そんな中、同期会長の仲間達が新鮮な出会いと興奮を与えてくれました
回数を重ねる事に楽しくなる会長会、それに伴う各クラブの周年や行事の参加活動
今後のワイズ活動に新たな原動力となる仲間が増えた感覚をもらったような気がします
今期の会長会は終わりましたが元会長会としていつまでも交流を持ちたいと思います。
改めて今期の隠塚部長と京都部の役員の方々、そして同期会長の皆さまありがとうございました。
京都部30期最高でした
これからも宜しくお願いします。

京都エイブルワイズメンズクラブ 会長 中川 泰人

会長主題 変革！エイブルクラブ

副 題 新旧ともに楽しんで



京都エイブルワイズメンズクラブ第36期会長の中川です。

今期を振り返ると、本当にあっという間の1年でした。

近年、エイブルクラブは会員数が大幅に増えてきましたが、その一方で活動への理解や参加意識には課題も感じていました。そこで今期は、より多くのメンバーが主体的に関われるクラブを目指し、いくつかの取り組みを進めました。

まず、三役が決めるだけではなく、役員会、委員会で意見を交わしながら決定する形へと見直しました。

また、今期からYサ事業への積極的な参加に加え、懇親会やバーベキュー大会、釣り企画などメンバー同士や家族も交流できる機会を増やしました。

さらに、他クラブとの合同例会や周年例会への参加を通じて交流を深めることで、いい刺激を受けたと思っています。

そのほか、従来の支援先以外に新たに地域のボランティア食堂『おぐらばんごはん会』への支援も開始いたしました。

この一年は、小さな変化を積み重ねながら、より良いクラブへの礎を築く一年だったと思います。

まだ改善すべき点は多くありますが、これからメンバーと共にさらに魅力のあるクラブを目指して尽力してまいります。

京都グローバルワイズメンズクラブ 会長 吉田 知弘

会長主題 『グローバルクラブは シンカ します！』

副 題 より広く、より深く、より良い親睦を！



この会長期、1年を振り返って思うことは、なんと言っても自クラブのメンバーの強い協力です。

会長としての私の主題は『グローバルクラブはシンカします！』という主題のもと、各事業委員長さんには要望として少し無茶なお願いをするとところから期が始まりました。CS委員会には新しい地域奉仕事業を行いたい！世界的観光地である嵐山で何か事業をしたいという要望を出し、Yサ委員長さんには事業に対する参加者の数を増やしたい、などなど。そんな無茶ぶりに各委員会さんが答えて数々のお願い事の達成を重ねていってくれました。その結果、グローバルクラブは西日本区大会において地域奉仕・環境事業で最優秀クラブ賞を頂戴しました。こちらは今期のCS事業委員さん達が新しく地域奉仕事業を立ち上げて実施した結果の受賞となります。また他にも・理事表彰：西日本区優秀クラブ賞・YMCAサービス・ユース事業：優秀クラブ賞・EMC事業：優秀クラブ賞第2位・国際・交流事業：優秀クラブ賞などたくさんの受賞を頂戴し、本当に誇らしい気持ちで会長職を全うさせていただきました。

会長である私自身が何か大きな努力をしたわけでもなく、冒頭にも書きましたメンバーの強い協力のもと素晴らしい結果で会長職を終えることができました。この1年間は正直大変忙しい日々を過ごしましたが、貴重な経験をさせていただきました感謝と、何よりクラブ愛・メンバー愛が深まった1年でした。本当にありがとうございました。また、同期会長の皆さまにも大変仲良くしていただき多くの刺激をいただきました事に深く感謝いたします。今後ぜひ仲良くさせてください。

ありがとうございました！！

京都トップスワイズメンズクラブ 会長 鹿取 俊志

会長主題 クラブをより良く

副 題 友情と成長



一年を振り返ってみると個人としては例会や事業への参加や主題としました《クラブをより良く》する為の取り組み、挨拶など大変な事が多かったですが終わってみれば良い経験をさせて頂けたのかなと思います。

クラブとしましてはYサはリーダーサポートの推進、YMCA事業への参加、CSは支援先への継続的なサポートや交流、EMCは新規入会者7名、ゲストフォローシートを使用し新規ゲストの明確化やサポート方法の検討、世代を意識したメンバー間の交流と事業、交流はIBC、DBC、小クラブの周年や部会などへの参加と交流、ファンドは目標80万円の所130万のファンド益、中央市場との関わりの見直し、新しい主軸となるファンド商品の開拓、ブリテンは新しいHPの開設、ブリテン誌のブラッシュアップと今期ならではの取り組み、ドライバーは各例会への準備、企画、運営、ビジョンではクラブの問題点や向かうべき方向などのメンバー間議論を行って頂きました。代表的な事を記載しましたがその他細部までご尽力頂きましてありがとうございました。皆様のおかげで西日本区表彰では最優秀クラブ賞、EMC事業最優秀クラブ賞、地域奉仕・環境事業優秀クラブ賞などを頂き華々しく終える事が出来ました。また同期会長とは日を追う事に仲良くさせて頂く事が出来たのかなと思います。今後も交流させて頂き、クラブ間の情報交換などをして京都部へ発信していく事が出来ればと思います。1年間お世話になりありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

京都トゥービーワイズメンズクラブ 会長 桶谷 雄一

会長主題 changing

副 題 克服していこう



京都トゥービーワイズメンズクラブ第30期会長としての一年が、無事に！？終わりました。振り返ると、本当に「あっという間」の一年でした。でも、その中身はとても濃く、うれしいこともあれば、悩むこともあり、反省することもあれば、学ぶこともあり。まず何より、いつも温かく支え、励まし、見守ってくださった皆様に、心から感謝申し上げます。皆様のお力があったからこそ、ここまでやり切ることができました。また、南座例会の取決めを行った際には、私の思いが先走り、いわゆる「会長の暴走事件」とも言えるような場面がありました。皆様に驚かせ、ご心配をおかけしたことを、この場を借りて深くお詫び申し上げます。後日、クラブ内で謝罪会見の様に頭を下げることになりましたが、その際も温かく受け止めてくださった皆様に、改めて救われました。あの一件も含めて、会長としての未熟さと、仲間のありがたさを痛感した出来事でした。

会長主題には「Changing ～克服していこう～」を掲げ、一年間取り組んでまいりました。正直に言えば、自分が思っていたような「Changing」を十分にできたとは言えません。思うように進まず、悩み、迷い、立ち止まりそうになることもありました。それでも、そのたびに仲間の言葉や笑顔に助けられ、前を向くことができました。全然完璧ではなかった30期でしたが、最後まで会長を務められたことは、私にとって大きな財産であり、素晴らしい経験をさせて頂きました。

そして非常に悲しい出来事が起きました。クラブのスポンサーであり、誰よりもワイズを愛し続けられた安井ワイズとの別れという、忘れられない出来事もありました。今でもふとした時に、「むっちゃ怒られたな」とか「なんでそんなキツイ言い方するんや」とか言い合いながら乗っかってばかりいた自分がいました。多分、安井さんも同じくらいの思いはあったと思いますが、後から思うと自分の為に特別思いっきり言ってくれていたんだなと思い出します。安井ワイズから教えていただいたワイズへの思い、そして奉仕の心は、これからも私たちの中で生き続けると信じています。あらためて、その大きな背中に深く敬意を表したいと思います。また、多くの出会いとつながりに恵まれ、人との関わりのおかげを改めて感じました。ワイズの活動は、ただ集まって何かをす

るだけではなく、人と人が心を通わせ、支え合い、時には励まし合いながら進んでいく場なのだと、あらためて思います。さらに、人生を共に歩み、支え合える大切な存在と出会えたことも、この一年の大きな喜びでした。ワイズ活動を通して得た経験や学びは、私にとって何にも代えがたい宝物です。7月からは第31期山口会長の新しいスタートとなります。新しい体制のもとで、クラブがさらに力強く、そして温かく歩んでいくことを心から願っています。私は一会員として、そして前会長として、新会長をしっかり応援し、クラブがさらに発展するために、できることを一つひとつ、力の限り続けてまいります。

第30期会長を務めさせていただけたことを、一生の誇りに思います。この一年を共に歩み、支えてくださったすべての皆様に、心より敬意と感謝を申し上げます。皆様のおかげで、このかけがえのない一年を最後までやり切ることができました。本当にありがとうございました。

京都ウェルワイズメンズクラブ 会長 松田 博一

会長主題 ワイズライフは螺旋階段のように

副 題 そこから見えてくる「温新知故」



さて、まずもって三役の皆様、役員の皆様、そしてメンバー各位の皆様、一年間本当にありがとうございました。心から御礼申し上げます。この一年間を無事終える事が出来たのも皆様のご協力あってのことと、痛感しております。

今期の会長主題を「ワイズライフは螺旋階段のように ～そこから見えてくる『温新知故』～」といたしました。年度当初にもお話させていただきましたが、「同じことの繰り返しのように見えるY's活動も、自分が高まっていけば、螺旋階段のように、上へ上へと昇っていくことができます。また、目的が何であっても、自分自身が成長していける実感を得られれば、そこに集う意味が見いだせます。これがワイズライフの醍醐味です。」というのが私の思いでした。「楽しくなければワイズじゃない」とは、よく言われることです。その通りです。でも、「楽しい」が、「楽」を求めることになっては本末転倒ですよ。

活動の本質は「奉仕・親睦・自己研鑽」、この三つのバランスを大切にしながら、自分の根っこを育てていくことだと思います。自分の根っこをしっかりと育てることが出来ると、自己研鑽によって自分という木の幹はしっかりと太く大きくなり、親睦という花が枝いっばいに咲き、奉仕という実がたわわに実ってくるでしょう。学びを止めてはいけません。これからも、ワイズライフという螺旋階段を上り続けていくためにも、私は学びを止めたくありません。しかし、会長も今回を最後としたいものです。

一年間本当にありがとうございました。

京都ZEROワイズメンズクラブ 会長 加藤 学

会長主題 「超感動」

副 題 ～感動を共にする仲間に～



今回、京都ZEROワイズメンズクラブの会長を一年間務めさせていただき、振り返ると「本当に挑戦して良かった」という思いでいっぱいです。もちろん、できたこともあれば、思うようにできなかったこともありました。しかし、この一年は私にとって、かけがえのない経験と出会いに恵まれた一年でした。私自身が「こんな事業をやってみよう」と思い描いていたことにも数多く挑戦することができました。京都サンガ観戦例会、桃山学園を支援するCS事業、そして台湾・桃園クラブとのIBC締結に向けた活動など、自分らしい色を出せる事業を実現できたことは、大きな喜びです。

一方で、仕事との両立に追われる中、「もっとできたことがあったのではないか」という反省もあります。例えば、出席率向上のために、もっと一人ひとりへ声を掛けられたのではないか。会長として、まだまだ成長できた部分もあったと感じています。

それでも、この一年で得たものは、それ以上に大きなものでした。ZEROクラブの仲間との絆はもちろん、京都部の皆様、同期会長の皆様、そして多くのクラブの方々と交流を深めることができました。

私はもともと、自分のクラブを中心に活動するタイプで、自ら他クラブへ足を運ぶことはあまりありませんでした。しかし、会長という役割をいただいたことで、これまで出会えなかった多くの仲間とご縁をいただき、世界が大きく広がりました。

これから会長という役目を終えても、周年例会や京都部事業などで再び皆様とお会いし、笑顔で語り合えることを楽しみにしています。このご縁は、私にとって一生の財産です。

そして、私たちZEROクラブ第16期の主題は「超感動」でした。その言葉どおり、一番「超感動」したのは、私自身だったのかもしれない。

この一年間、支えてくださったすべての皆様へ、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。皆様との出会いと経験を胸に、これからも感謝の気持ちを忘れず、一步ずつ歩んでまいります。ありがとうございました。

北京都フロンティアワイズメンズクラブ 会長 湯沢 隆

会長主題 「10年分の感謝！」

副 題 笑顔溢れるフロンティアクラブ～今この時を楽しもう～



この一年を振り返り、まずは当クラブメンバーをはじめ、京都部役員の皆様そして京都部各クラブのメンバーの皆様、YMCA国際福祉専門学校の関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

この一年は、当クラブにとって節目となる創立10周年を迎えた大変意義深い年となりました。10周年記念例会では、多くの皆様にご参加いただき、これまでの歩みを振り返るとともに、未来への新たな一步を踏み出す機会となりました。先輩方が築いてこられた歴史と伝統の重みを改めて感じる事ができました。また、地域貢献活動として開催した「第6回YMCA杯学童野球大会」では、多くの子どもたちの元気なプレーと笑顔に触れることができました。スポーツを通じて青少年の健全育成に貢献できたことは、クラブとして大きな喜びであり、今後も継続していきたい活動の一つです。

さらに、YMCA国際福祉専門学校の留学生との交流会や交流バーベキュー大会では、国籍や文化の違いを超えた交流の輪が広がりました。留学生の皆さんの真剣な学びの姿勢や明るい笑顔に接し、私たち自身も多くの刺激と学びをいただきました。ワイズメンズクラブの理念である「奉仕と友情」を実感できる貴重な機会となりました。会長として至らない点も多々あったかと思いますが、会員の皆様のご理解とご協力のおかげで無事に一年を終えることができました。この経験は私にとって大きな財産です。

北京都フロンティアワイズメンズクラブがこれからも友情を深め、地域社会とYMCAへの奉仕活動を通じてさらに発展していくことを切に願っております。一年間、本当にありがとうございました。

京都ブラックワイズメンズクラブ 会長 神谷 順也

会長主題 戮力協心

副 題 仲間と歩む、成長の道



皆さん1年間ありがとうございました。

僕がブラッククラブの会長となり1年が経って次の会長へとバトンを繋ぐことができたことを大変嬉しく思います。

ブラッククラブは1年前14名でスタートしたのですがスタートしてすぐに設立メンバーである2名(副会長と会計)が辞めることにな

りました。さらに書記の方は拠点を京都から東京へと移されました。実質、4役のほとんどがいなくなるような状態となりました。ブラッククラブのメンバーのほとんどが歴の浅いメンバーばかりです。そんなメンバーの中から次期会長を任命する方を選出していくことに約半年間かかりました。次期会長を選出できるまでの間にブラッククラブを解散させることも視野に入れました。その中でバトンを繋ぐことができたのはすごく大きかったと思います。そしてブラッククラブは8名の入会者を向かい入れることができ現在20名となりました。目標であった20名を達成することができ、さらにメンバー全員でブラッククラブを創っていく方向に変わっていきつつあります。ここまで良い方向に変わってきたことでこれからのブラッククラブが楽しくて仕方ありません。僕がこの1年間会長を務めさせていただきまして本当に大変でしんどかったです。しかしこうして良い方向にブラッククラブが大きく前進できたことが何よりも嬉しいです。

1年間本当にありがとうございました。これからもブラッククラブをよろしく願いいたします。

会長主題

沖縄ワイズメンズクラブ 会長 長堂 嘉範

副 題

沖縄ワイズとしてのカルチャーをつくる

次世代につなぐための土台づくり



沖縄ワイズメンズクラブが西日本区・京都部に所属変更となり、早いもので三年があっという間に過ぎました。

今期、私は「沖縄ワイズとしてのカルチャーをつくる」「次世代につなぐための土台づくり」を二大目標に掲げ、手登根直前会長からのバトンを手探りながらも会長職に努めてまいりました。この一年を振り返り、反省点も多く大きな成果は得られていないと感じていますが沖縄新風クラブとの緊密な連携と、メンバー個々の強みを活かした相互理解の深化は進んだと感じております。同じ志を持つ仲間との絆が深まるにつれ、沖縄の地にも次世代へと受け継ぐべき新しいワイズの土台が微力ながら根付いていると思います。しかし、私たちの活動は沖縄の地だけで完結するものではありません。海を越えた京都部の皆様との連携があつてこそ、私たちのカルチャーはより豊かで強固なものへと昇華いたします。物理的な距離を乗り越え、多くのワイズメンバーの皆様と温かい協力体制を構築できたことは、私にとっても沖縄クラブにとっても、何よりの財産となりました。

一年間、至らぬ私を支え、共に汗を流して下さったすべてのメンバーと、遠方から常に温かい励ましとご指導を送り続けて下さった京都部の皆様に、心より深く感謝申し上げます。この一年で培った確かな土台を胸に、沖縄ワイズはこれからも未来へ向かってさらなる一步を踏み出してまいります。

沖縄新風ワイズメンズクラブ 会長 金武 朝成

会長主題

みつけよう 伝えよう

副 題

足元を見つめワイズメンズクラブの魅力を再発見



この1年、お世話になりました。活動の成果としては、一歩ずつという形ではありますが、沖縄YMCAとのコミュニケーションを取って行っている所です。

沖縄クラブと連携を取りながら活動してはいますが、両クラブとも人員的な課題が解消されず、上手く動いていない状況が続いております。そのため、今期の会長職で4期務めている状況で、次に4期目がスタートすることとなっています。京都部の各クラブの取り組みを遠くから見て、積極的な動きを目にすると、沖縄も頑張ろうと思い、心強く感じておりました。改めて、この一年過ごしてきました隠塚部長、京都部役員の皆様、各会長の皆様、ありがとうございました！